

平成25年2月15日
課名：危機管理課
担当：小倉、小栗
内線：2510, 2581
直通：086-226-7293

南海トラフ巨大地震の震度分布図・液状化危険度分布図について

県では、国が昨年8月に公表した南海トラフ巨大地震による震度分布、津波浸水域等を受け、国が用いたデータに、県独自に収集した地質データ等を追加し、より詳細な震度分布図と液状化危険度分布図を作成した。

なお、今回作成した分布図は、南海トラフにおいて科学的知見に基づき想定される最大クラスの地震が発生した場合の本県における震度分布等であるが、こうした地震の発生頻度は極めて低いものであり、次に発生する地震を示したものではない。また、地震・津波は自然現象であり不確実性を伴うものであることや、現在の科学的知見には限界があることなどに留意する必要がある。

1 震度分布図について

国が検討した5つのケースのうち、本県に最も大きな影響が及ぶとされる「陸側ケース」について、県独自に収集したボーリングデータなどを追加し、より詳細に表層地盤の地質の状況を把握した上で、簡易法や詳細法などの計算手法を用いて、震度分布を推計し、震度分布図を作成した。

2 液状化危険度分布図について

1で算定した地震動の推計結果を基に、液状化危険度を推計するに際し一般的な手法であり、国も用いているPL法により液状化危険度を推計し、液状化危険度分布図を作成した。

3 市町村別分布図の作成について

今後、地域の状況が分かりやすいよう、全県図に加えて、市町村別の分布図を作成し、県ホームページに掲載するとともに、市町村へ提供する。

(別紙)

市町村別最大計測震度

市町村	国	県	市町村	国	県	市町村	国	県
岡山市（北区）	6.0	5.9	高梁市	5.4	5.3	里庄町	5.9	5.6
岡山市（中区）	6.1	6.0	新見市	5.2	5.3	矢掛町	6.0	5.8
岡山市（東区）	6.0	6.0	備前市	6.1	5.9	新庄村	4.9	4.9
岡山市（南区）	6.2	6.2	瀬戸内市	6.0	5.9	鏡野町	5.0	4.7
倉敷市	6.1	6.0	赤磐市	5.8	5.5	勝央町	5.1	5.1
津山市	5.5	5.2	真庭市	5.3	5.1	奈義町	4.9	4.9
玉野市	6.0	5.9	美作市	5.2	5.2	西粟倉村	5.2	4.8
笠岡市	5.9	6.0	浅口市	6.0	5.9	久米南町	5.1	5.0
井原市	5.7	5.7	和気町	5.7	5.6	美咲町	5.2	5.2
総社市	5.8	5.6	早島町	5.9	5.7	吉備中央町	5.3	5.2

- (注) 1 計測震度とは、揺れの強さの程度を数値化したもの。気象庁では、各地に設置している計測震度計で観測された計測震度を震度階級に換算し公表している。
- 2 本表は、250mメッシュごとに算出した計測震度のうち、各市町村の最大のものを表示している。国欄は昨年8月に国が公表したものの最大計測震度であり、県欄は今回県が算出したものである。

震度階級と計測震度の関係表

震度階級	計測震度
4	3.5 以上 4.5 未満
5 弱	4.5 以上 5.0 未満
5 強	5.0 以上 5.5 未満
6 弱	5.5 以上 6.0 未満
6 強	6.0 以上 6.5 未満

市町村別最大震度

市町村	国	県	市町村	国	県	市町村	国	県
岡山市（北区）	6 強	<u>6 弱</u>	高梁市	5 強	5 強	里庄町	6 弱	6 弱
岡山市（中区）	6 強	6 強	新見市	5 強	5 強	矢掛町	6 弱	6 弱
岡山市（東区）	6 強	6 強	備前市	6 強	<u>6 弱</u>	新庄村	5 弱	5 弱
岡山市（南区）	6 強	6 強	瀬戸内市	6 強	<u>6 弱</u>	鏡野町	5 強	<u>5 弱</u>
倉敷市	6 強	6 強	赤磐市	6 弱	6 弱	勝央町	5 強	5 強
津山市	5 強	5 強	真庭市	5 強	5 強	奈義町	5 弱	5 弱
玉野市	6 強	<u>6 弱</u>	美作市	5 強	5 強	西粟倉村	5 強	<u>5 弱</u>
笠岡市	6 弱	<u>6 強</u>	浅口市	6 強	<u>6 弱</u>	久米南町	5 強	5 強
井原市	6 弱	6 弱	和気町	6 弱	6 弱	美咲町	5 強	5 強
総社市	6 弱	6 弱	早島町	6 弱	6 弱	吉備中央町	5 強	5 強

- (注) 1 本表は、上記の表の最大計測震度を震度で表示したもの。
- 2 アンダーラインは国と県で最大震度が異なる場所。
- 3 国は、市町村の最大震度を示すに当たっては、広域的・マクロ的な観点から、当該震度階級に当てはまる計測震度のメッシュが、少なくとも10個以上あるものを対象としており、10個未満の場合には対象としていない。(例：矢掛町のケース)
- 県は、当該計測震度を示すメッシュが10個未満でも対象としている。(岡山市中区・東区、笠岡市は計測震度6.0のメッシュ数が1～5個であるが、そのまま対象としている。)

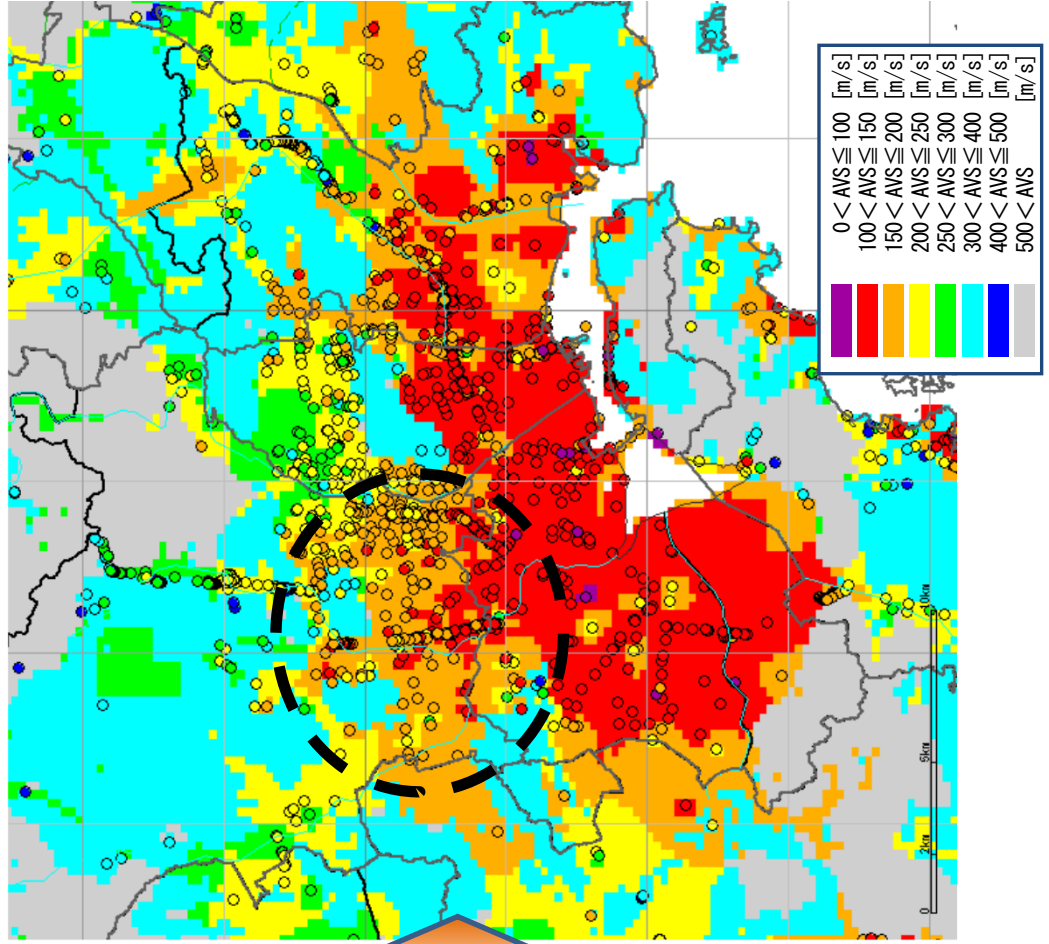
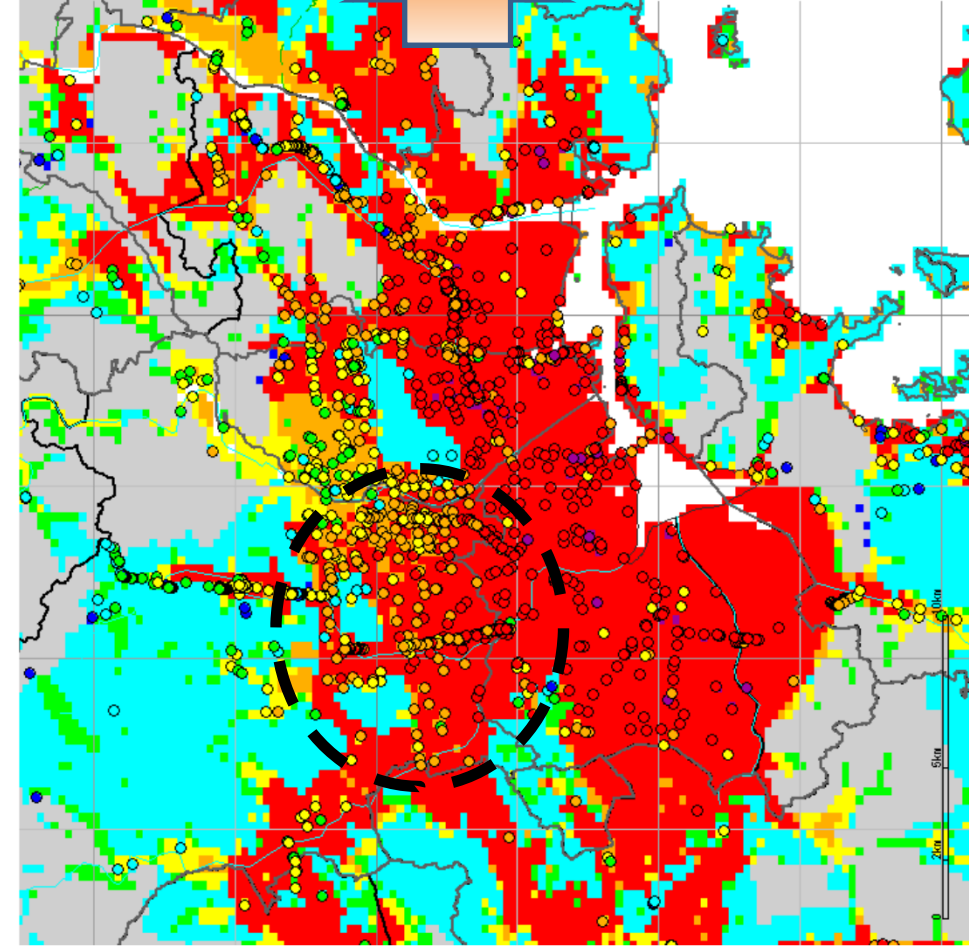
地盤モデル(AVS30)の修正(例:岡山市)

(修正前)

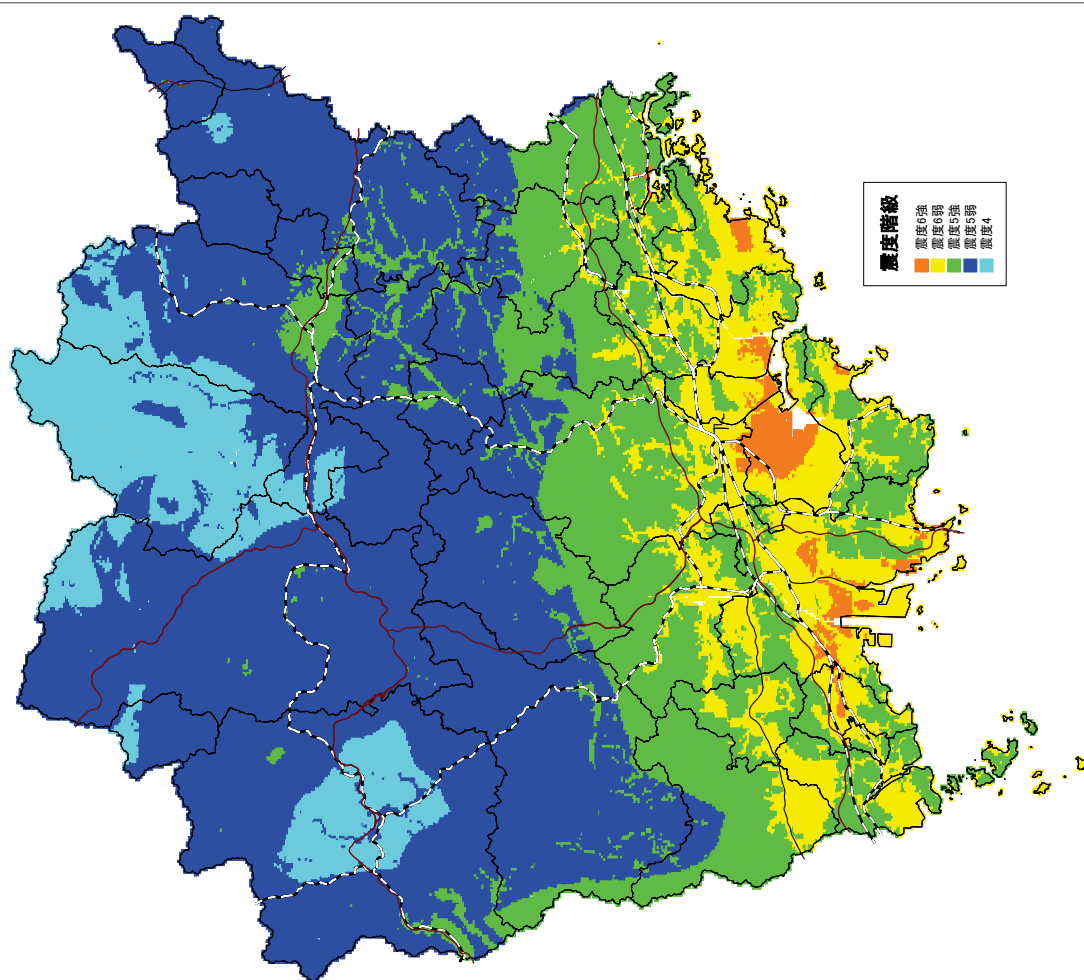
内閣府のモデルにボーリングデータを重ねたもの

(修正後)

ボーリングデータや地質図を反映して修正したもの



南海トラフ巨大地震による震度分布図【内閣府想定】

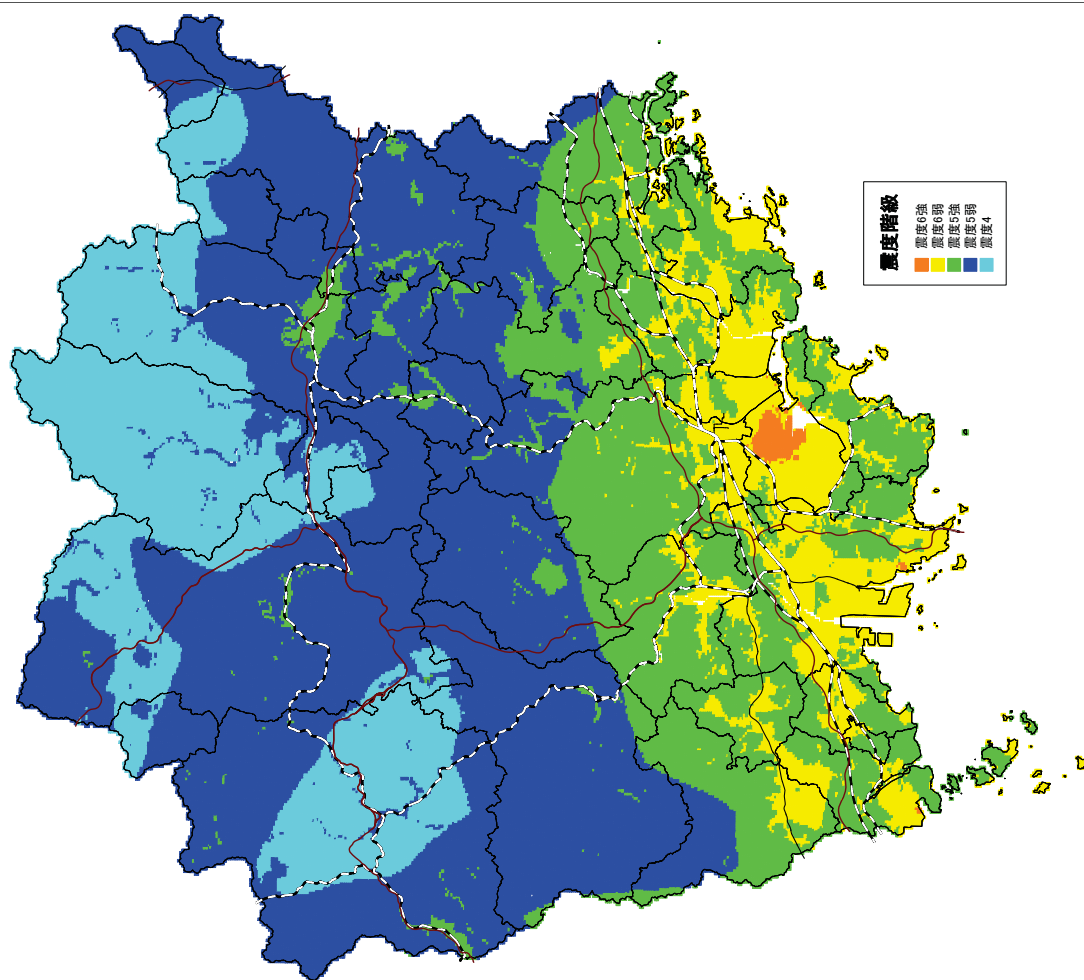


岡山県危機管理課 平成25年2月作成

この地図の作成に当たっては、国土交通省の国土数値情報(鉄道データ、高速道路時系列データ)を使用した。
※本分布図は内閣府想定データを基で再現したものである。

1:400000

南海トラフ巨大地震による震度分布図【岡山県想定】

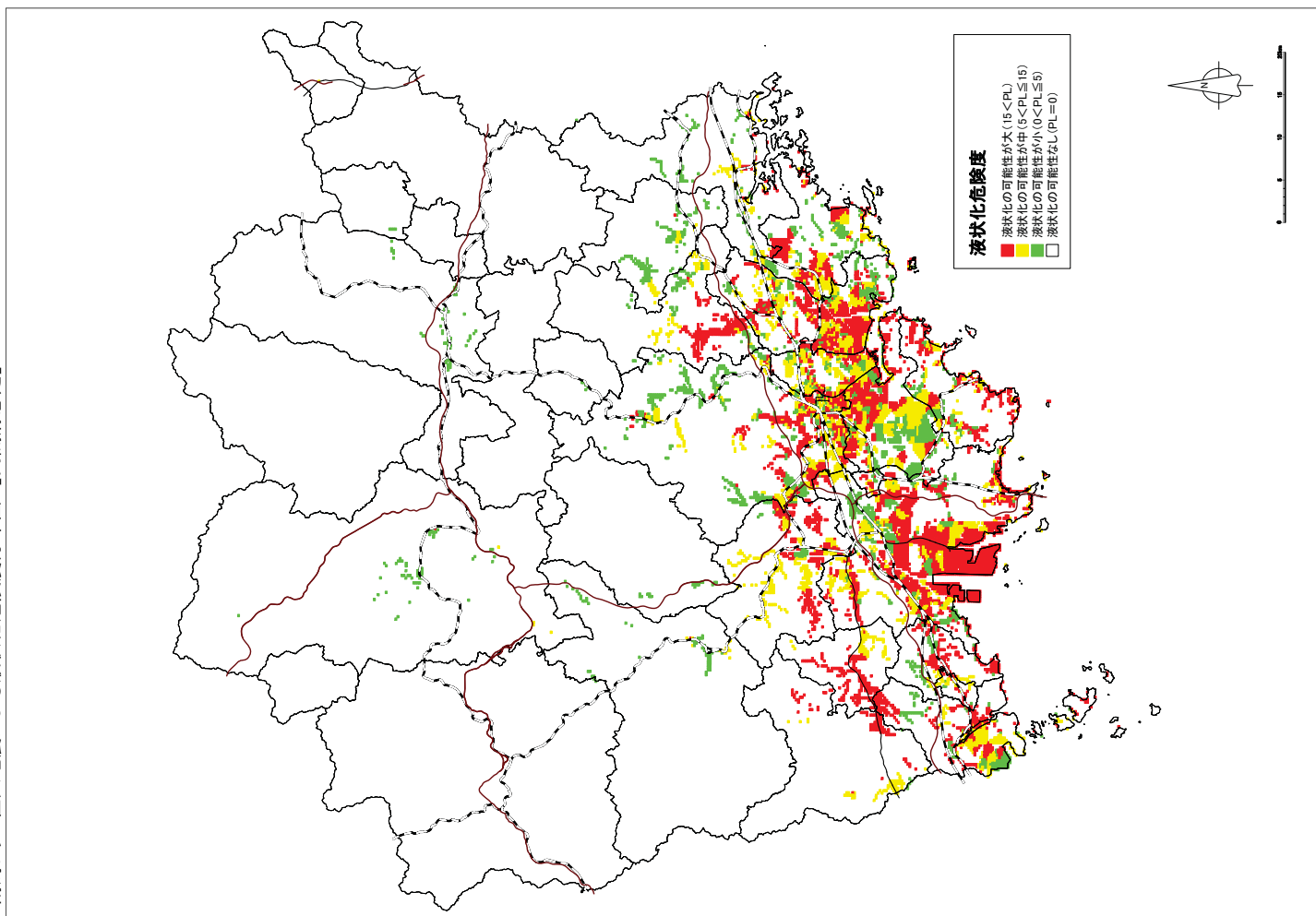


岡山県危機管理課 平成25年2月作成

この地図の作成に当たっては、国土交通省の国土数値情報(鉄道データ、高速道路時系列データ)を使用した。

1:400000

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【内閣府想定】

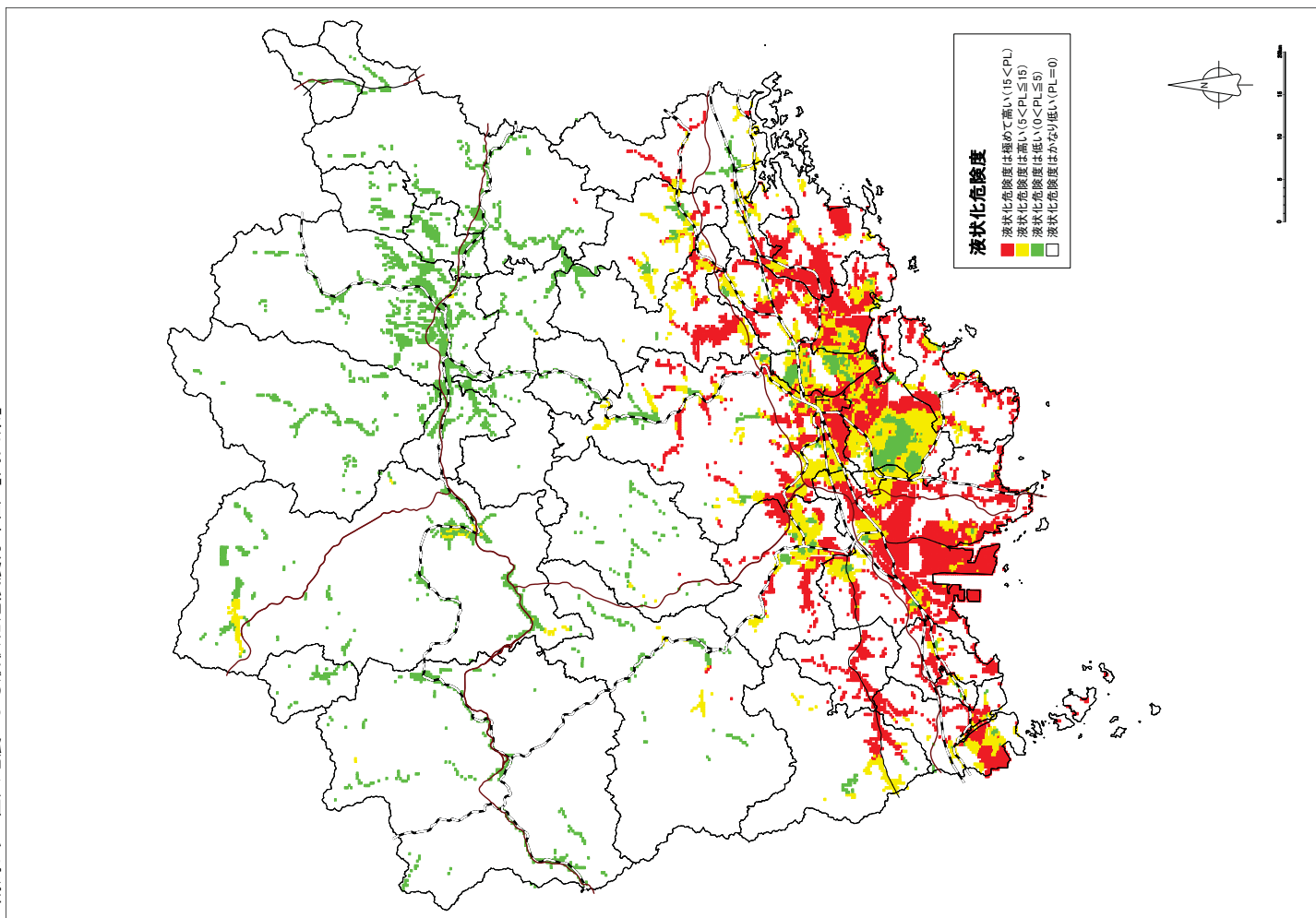


岡山県危機管理課 平成25年2月作成

この地図の作成に当たっては、国土交通省の国土数値情報(鉄道データ、高速道路時系列データ)を使用した。
※本分布図は内閣府想定のものである。

1.400000

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県】

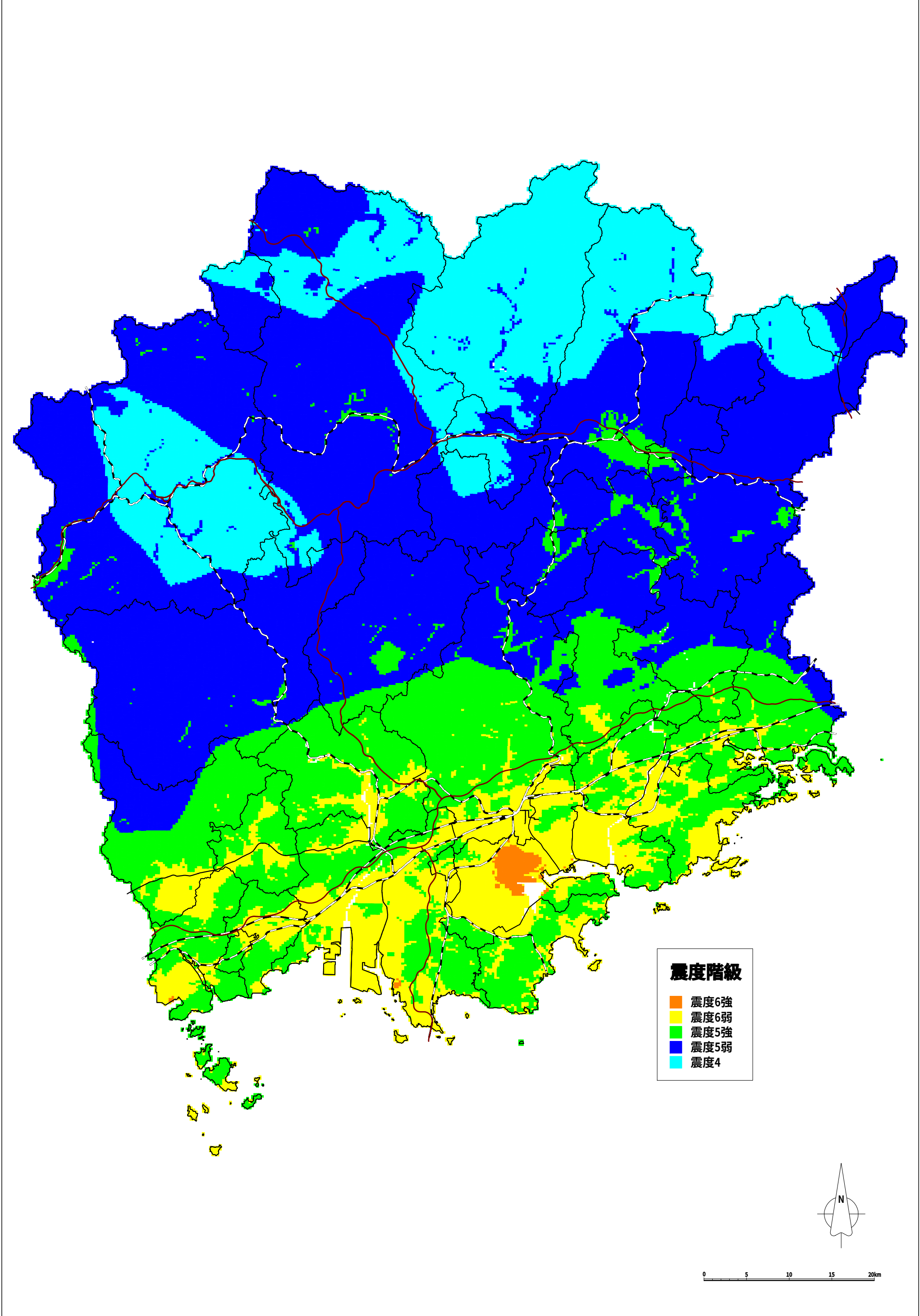


岡山県危機管理課 平成25年2月作成

この地図の作成に当たっては、国土交通省の国土数値情報(鉄道データ、高速道路時系列データ)を使用した。

1.400000

南海トラフ巨大地震による震度分布図 【岡山県想定】



南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県】

